

おおさきフレイル相談薬局の認証について

1 背景と経過

令和3年度より宮城県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を拡大しながら実施している。

事業を進める中で、高齢者の多くがフレイル状態になりやすくその予防が重要であることを再認識した。

2 フレイル予防について

(1) フレイルとは

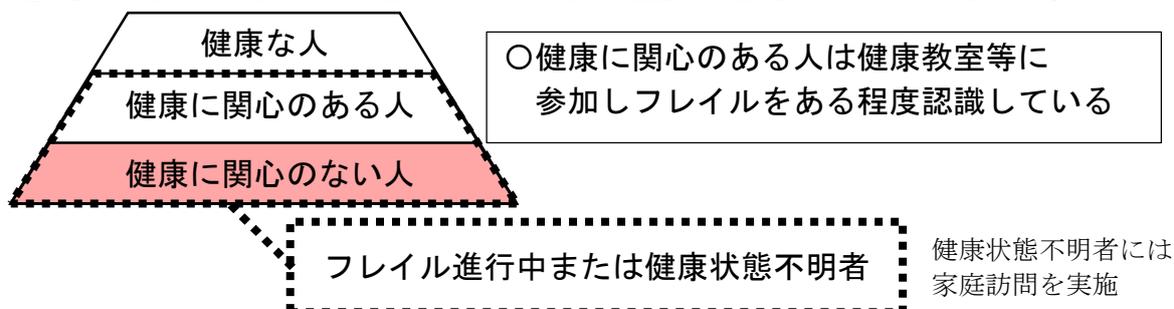
健康な状態と要介護状態の中間で身体的機能や認知機能の低下が見られる状態
進行の主な要因：加齢，栄養不足，運動不足，社会参加不足，誤った薬の服用

(2) これまでのフレイル予防

健康教室，百歳体操等でのフレイルチェック，薬局による服薬指導

(3) フレイル予防は健康寿命の延伸には不可欠

- ①フレイルという言葉自体の認知度が低いため広く周知する必要がある。
- ②健康に関心のない人にもフレイル予防の重要性を認識してしてもらう。



(4) 既存の連携基盤の活用

- ①地域包括ケアシステムの基盤 → 医療等関係機関の連携体制は構築済み
- ②現在実施している服薬指導の活用 → 服薬がフレイルに与える影響は大きい
- ③高齢者は頻繁に薬局を訪れる → 身近に感じる場所で相談しやすい

3 薬局を拠点とした新たなフレイル予防

薬局を拠点としたフレイル予防の実施に向けて、大崎薬剤師会と検討・協議を重ねた。

(1) 既存取組の活用だけでなく新たな取組として、フレイル相談薬局を規定しその認証を行う

(2) フレイル相談薬局の動向と評価

- ①薬局をフレイル予防の拠点とし認証するのは宮城県内初
- ②全国でも実例の少ない先進的取組
- ③事業の実施主体である宮城県後期高齢者医療広域連合から高く評価

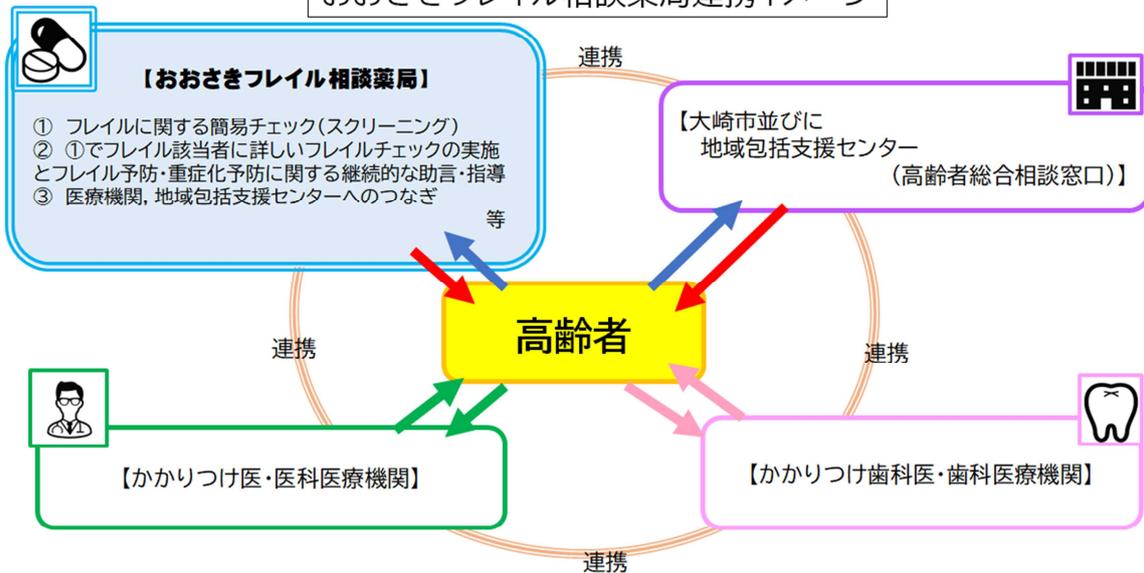


4 認証要件と薬局の役割

フレイル予防に必要な知識の習得と最適なつなぎ先の理解を目的に、全4回の研修会を開催し、すべて受講した薬局を「おおさきフレイル相談薬局」として認証する。

認証薬局は、服薬指導や相談にあわせて、フレイルチェックや生活相談を行い、結果に応じて医療機関や地域包括支援センター等といった、その方に適した関係機関につなぐことでフレイル予防に取り組む。

おおさきフレイル相談薬局連携イメージ



5 研修会

令和6年度に開催する4回の研修会

回	月日	講義内容	講師
1	8月28日	フレイル相談薬局として目指す方向性	帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 研究科長 福田吉治 教授
2	10月下旬 (日程調整中)	高齢者と整形外科慢性疾患, 予防対策	大崎市民病院 院長 今泉秀樹 先生 大崎市民病院 理学療法士
3	12月11日	オーラルフレイルに関する基礎知識とフレイル状態にある高齢者への支援	東北大学病院総括副病院長 咬合修復科 科長 江草宏 教授
4	1月31日	高齢者の低栄養予防について 受講者による多職種意見交換	仙台白百合女子大学 人間学部健康栄養学科 佐々木裕子 教授

時間はいずれも午後6時45分から午後8時30分までを予定

6 受講対象

大崎薬剤師会加入薬局 (全98か所) に所属する薬剤師

7 認証方法

- (1) 薬局「おおさきフレイル相談薬局」認証書, 認証ステッカーの交付
- (2) 薬剤師「おおさきフレイル相談認定薬剤師」認定書の交付
- (3) 令和7年2月に認証式の開催予定

8 制度の周知方法

- (1) フレイル予防日めくりカレンダー
- (2) 缶バッジを作成し認証薬局に配布
- (3) 認証薬局, 認定薬剤師の情報を大崎市のウェブサイトに掲載

9 次年度以降の対応

令和7年度以降も認証の更新と追加認証の体制を構築する。